

全般 1 か月予報

(7月2日から8月1日までの天候見通し)

平成17年7月1日

気象庁 地球環境・海洋部発表

<特に注意を要する事項>

東日本太平洋側と西日本では少雨が続いています。向こう一週間は西日本太平洋側では雨が少ない状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

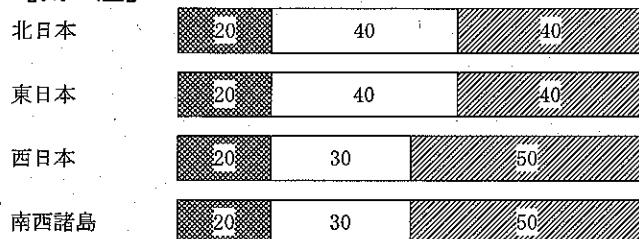
天気は北日本で平年に比べ曇りや雨の日が多く、南西諸島で平年に比べ晴れの日が多く、東日本と西日本で平年と同様に前半は曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は西日本と南西諸島では高く、北日本と東日本で平年並か高いでしょう。降水量は南西諸島で平年並か少なく、東日本と西日本で平年並で、北日本で平年並か多いでしょう。日照時間は西日本日本海側で平年並か少なく、北日本と東日本、西日本太平洋側で平年並で、南西諸島で平年並か多いでしょう。

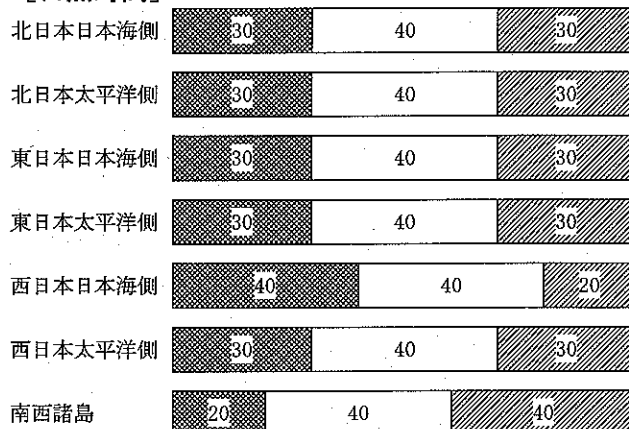
週別の気温は1週目は北日本で平年並か低い他は、平年並でしょう。2週目は平年並か高いでしょう。3～4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

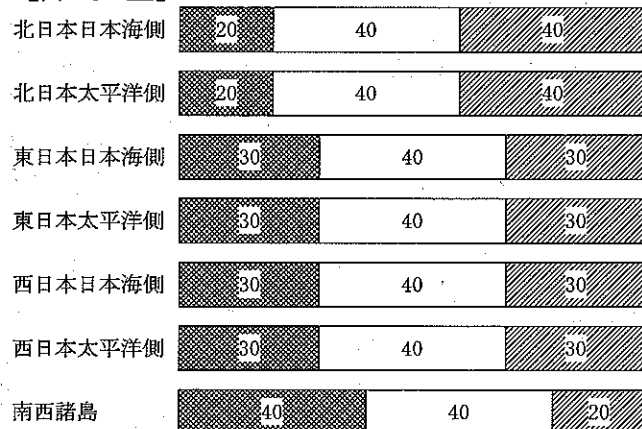
[気 温]



[日照時間]

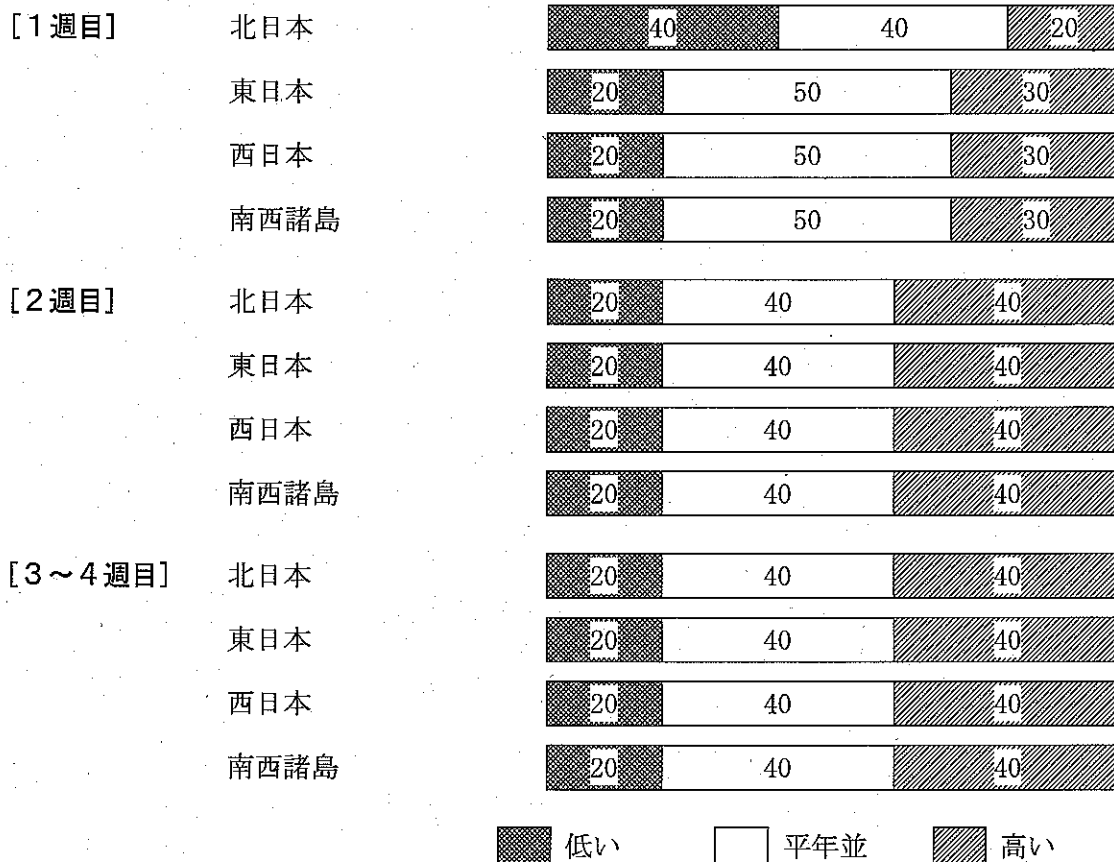


[降 水 量]



低い(少ない)
 平年並
 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率（％）>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月 2日 (土) ～ 8月 1日 (月)
 1週目 : 7月 2日 (土) ～ 7月 8日 (金)
 2週目 : 7月 9日 (土) ～ 7月15日 (金)
 3～4週目 : 7月16日 (土) ～ 7月29日 (金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分発表 次回は7月8日
 3か月予報：7月25日 (月) 14時

<参考資料（平年並の範囲）>

（１）１９７１～２０００年のデータに基づいた向こう１か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差（℃）		降水量平年比（％）	日照時間平年比（％）
北日本	-0.3～+0.6	日本海側	83～111	90～111
		太平洋側	83～117	91～108
東日本	-0.4～+0.5	日本海側	67～123	90～114
		太平洋側	80～112	92～110
西日本	-0.5～+0.5	日本海側	65～126	88～109
		太平洋側	76～107	90～108
南西諸島	-0.3～+0.3		66～110	96～107

（２）この予報期間の１週目、２週目、３～４週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	１週目	２週目	３～４週目
北日本	-0.6～+0.6	-0.7～+0.7	-0.4～+0.8
東日本	-0.7～+0.5	-0.8～+0.6	-0.4～+0.7
西日本	-0.8～+0.8	-0.6～+0.7	-0.2～+0.4
南西諸島	-0.1～+0.4	-0.3～+0.4	-0.2～+0.4

<参考資料（利用上の注意）>

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、１９７１～２０００年の３０年間における各階級の出現率が等分（それぞれ３３％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった１０％以下や６０％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（３０％、４０％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の２分の１より多い（少ない）ことを意味します。